



田中英行

空家対策について

田中 空家対策について現在までの成果はどうか。

答弁 平成19年度から定住奨励金や空家リフォーム補助金などを活用され、空家を利活用された方は延べ125世帯また、平成22年度から空家バンク制度により現在までに59件が入居をされています。

田中 空家や空店舗の見学ツアー等の計画はできないか。

答弁 現時点では実施計画はありませんが、今年度は多久市移住体験住宅を整備することとしています。

森林環境税について

田中 この税を利用した取り組みは。

答弁 市内の荒廃した個人所有の森林を環境林として位置づけ、協定書結び、多久市発注の委託業務として間伐、浸入竹林の整備、植栽、下刈りを行っているところです。

田中 平成30年度以降の事業はどのように考えているのか。

答弁 今後5年間の整備地区とし



野北 悟

市立病院について

野北 病床の稼働率の推移について。

答弁 急性期治療のための一般病床が60床、長期入院が必要な慢性期治療のための療養病床が45床で運営していますが、一般病床は平成27年度が72・3％、28年度75・2％、29年度73・6％と推移しています。また、療養病床につきましては、平成27年度58・6％、28年度42・8％、そして、29年度42・2％と推移しています。

野北 病床の稼働率自体が余りにも低いと感じるが。

答弁 療養病床2につきましては常時医師、看護師等の監視、管理が必要な症状が重い医療区分2、3の割合を50％、療養病床1につきましては80％以上の患者様が必要。療養病床2から1に転換を行った結果、医



て、多久町の荒廃森林を中心に整備を考えています。

田中 荒廃した山林を放っておくと災害が起きますので、ぜひ山が荒廃しないように管理していただきたい。

聴覚障害者手話言語支援について

田中 聴覚障害者手話言語支援について現在の取り組みは。

答弁 手話奉仕員養成講座を実施し聴覚に障害がある方のサポートや手話通訳者等派遣事業で意思疎通、コミュニケーションの支援を行っています。

田中 市で手話言語条例をつくることはできないか。

答弁 広く情報を収集し、条例制定に向けた研究を行っていきます。

田中 ボランティア養成講座等を増やすことにより、聴覚などを含め、障害を持たれた方に対して明るい材料になると思います。



療区分1の患者様の受け入れが困難になり、全体として入院患者様が減ったと分析しています。

野北 地域医療における市立病院が果たすべき役割として対応は。

答弁 全国的にこの療養病床2の存続に対する要望等が出され、30年度からの診療報酬改定によりまして、結果的に療養病床2が残った改正となった。症状が軽い医療区分1の方を引き続き受け入れることが公立病院としての役目であろうと考えています。

ヒヤリ・ハットについて

野北 病院内でのヒヤリ・ハット事例の対応はどのようになっていますか。

答弁 ヒヤリとしたり、ハットとした経験を積極的に報告させ、その後の重大な事故などの発生を未然に防止することを目的に活用しています。

野北 平成27年度から29年度までの3年間の資料を見たが、インシデントの件数に対しアクシデントの件数が多いのではないか。

答弁 次の重大な事故を予防する注意喚起のために報告をさせている部分がありますので、その件数等についてもおおむね適切ではないか監査されています。



中島 慶子

環境(ごみ処理)行政について

中島 ごみ減量化の進捗状況について。「混ぜればごみ・分別すれば資源」分別の細分化の考えは。

答弁 現在9品目の分別ですが、分別項目を増やし、ごみの減量化促進は常に課題と捉えています。分別可能な品目について引き続き検討をしていきます。

中島 現在のステーション収集及び戸別収集の状況について。収集効率や危険度の少ない収集方法、高齢者等へのごみ出し支援などへの考えは。

答弁 先進事例等研究し多久市の実情に合った方法の検討を進めます。

中島 2020年完成予定の多久・小城クリーンセンター(仮称)の運営方法、雇用形態は。

答弁 公設民営で行い、設計・建設、20年間の維持管理・運営(雇用)を一括して民間事業者と契約しています。

中島 関連施設として建設中の多久市マテリアル・リサイクルセンター(仮称)の概要と雇用は。

答弁 建設費は、約4億7000万



古賀 公彦

学校の夏休み短縮について

古賀 学習指導要領の改訂により授業時間が増えたことに対する対応は。

答弁 年間3日間の土曜開校日、義務教育学校への校種の変更により、前期課程での卒業式、後期課程での入学式を行わないことにより確保しています。

古賀 「夏休みの短縮」「2学期制」の導入は考えていないか。

答弁 夏休みの短縮については、小中一貫教育を導入し、義務教育学校になったことで十分な日数を確保しており導入の必要はないと考えています。2学期制については、平成10年代に全国的に議論が起こり、教育



円。処理能力1日3t。2019年3月完成予定、供用開始はクリーンセンターと同時とします。市職はセンター長1名を考えています。

中島 新施設のメリットは。

答弁 ごみ処理の広域化を図り、循環型社会の実現に向けた廃棄物の適正処理が進められます。広域運営での交付金を受けられ、財政面でも大きなメリットがあります。

中島 完成後の搬入車輛台数は。搬入経路と該当地区への早目の周知が必要なのは。

答弁 多久市年間5500tで、日30台。小城市は、1万62tとあります。搬入経路は、今年度中広域クリーンセンター建設促進協議会で協議のうち、関係地区にお伝えします。



観光振興事業について

古賀 孔子の里「桜まつり」「紅葉まつり」のライトアップはできないか。

答弁 平成19年から平成22年の間実施をしましたが、東日本大震災等で電力需要に対する抑制として中止、その後、集客の問題や費用対効果等から再開が難しく、現在まで実施していません。

古賀 梶峰城までの歩道の整備はできないか。

答弁 梶峰城散策コース整備について、現在、計画はありません。山全体が梶峰城遺跡という埋蔵文化財の包蔵地に指定されており、開発行為の際に文化財保護法に基づき手続きが必要です。また、地元有志の方が梶峰城までのコースを一般観光客用の散策道として、整備計画する場合も、整備の内容や距離等を届け出す必要があります。

【その他の質問】

▼龍孫の郷散歩道「ウォーキング」・体験型観光サイト「TABICA」・JR九州紅葉まつりウォーキングの現状について質問しました。